

令和6年度

第3回コミュニティ・スクール運営協議会



令和7年1月31日（金）

浜松市立白脇小学校 会議室

第3回白脇小学校コミュニティ・スクール運営協議会式次第

司会 河口

*開催要件（過半数の出席）確認

- 13:15 (1) 会長挨拶
(2) 校長挨拶
13:20 (3) 授業参観
13:40 (4) 議長の選出
(5) 前回会議録確認
(6) 熟議
○ 学校評価から
・〈頭〉「CSボランティアの」の活躍について
・〈体〉運動技能・知識の向上を目的とした年間通しての活動について
・〈心〉いじめの防止についての取り組みについて
14:30 (7) 次年度の学校運営の基本方針の概要説明
(8) 学校運営協議会の自己評価
14:50 (9) 報告
・学校支援ボランティアの活動報告と来年度の提案例
・夢育やらまいか事業（CS加算分）について
(10) 連絡

メモ

* 次回の学校運営協議会は、5月22日（木）13:30～15:00です。

令和6年度 第2回 白脇小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月24日（木） 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 白脇小学校 会議室
- 3 出席委員 田口 博、鶴屋 義照、柳川 樹一郎、清水 哲夫、外波山 裕康、
望月 真菜（学校支援コーディネーター兼務）、大石 絵理
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 齋田 剛志（白脇協働センター コミュニティ担当）
- 6 学 校 神 宏之（校長）、大石 みや（教頭）、安川 剛史（教頭）、
河口 裕之（主幹）、植田 敬子（CSディレクター・学校支援コーディネーター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 植田 敬子

10 議長の選出

司会の河口から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鶴屋副会長からの推薦により、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

（1）全ての子供たちの笑顔のために

- ・「いじめ」とは
- ・本校の取り組みについて
- ・自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力のある子に育てるために

12 会議記録

司会の河口から、委員総数全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）すべての子供たちの笑顔のために

○議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、いじめの理解と対応について説明、また本校でのランドデザインに基づいた対策や取り組みを紹介。

- ・「けんか」と「いじめ」の違いについて。
- ・どの児童も被害者にはもちろん、加害者にもなりうる現状の説明。

○本校でのランドデザインの目指す子供像と重点項目の「心」のしなやかさで掲げる、「自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力のある子を育てる」ためにどういう取り組みをするべきかの発言を求めた。

委員からは、以下の発言があった。

- ・「あいさつが何につながるか」の指導の必要性。儀礼的にあいさつを済ます子供にならない環境作り。（柳川委員）
- ・日々の生活に追われて、子供同士、人同士の関係が濃くならない現代、子供の話に耳

を傾ける心と時間の「ゆとり」を先生も保護者も持つべき。(鶴屋委員)

- ・ 「環境が人を作る。」←今できる環境作りを心がける(外波山委員)
- ・ 子供を取り巻く大人の環境の変化(核家族化、共働き化)の中で、限られた子供と過ごせる時間を大切にする。夕食を家族揃って食べることを心掛けている。(大石委員)
- ・ 「いじめかも」の時点で、学校側が対応を始めてくれるのでありがたい。(望月委員)
- ・ 信頼関係構築を図り、嫌な気持ちを吐き出せる環境作りの必要性。保護者同士のつながりも大切。(望月委員)
- ・ 子供に声掛けをするときには、前向きになれる言葉、相手が安心できるような言葉を掛けるようにすると良い。(清水委員)

○別紙資料のいじめのサインを見逃さないチェックリストについて。

- ・ いじめのサインを気づける担任が増えると良い。そのためにも子供と先生との信頼関係の構築が大切。(清水委員)
- ・ 先生が子供のいじめのサインを「感知できる」「気付くことができる」ための「経験」を蓄積するためにはどうすればいいか。(外波山委員、柳川委員)

○自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力のある子を育てるために本校での取り組みを紹介。

- ・ 他学年同士のペア活動
- ・ 清掃縦割り活動・委員会活動でのイベント
- ・ 友達の良いところ見つけ・ふわふわ言葉集め
- ・ 林間学校・修学旅行のお迎えの掲示、お守りの作成

本校の特徴について委員から質問があり、校長より、1000人規模の学校であるが、発達学級がない。そのことで、困り感のある子供のいじめの認知が多めになる傾向であると回答。また担任・教員に対して毎月子供たちと様子のチェックリスト提出を義務づけ、気になる子供を多くの目で対応している現状を報告。

(2) その他連絡事項等

- ・ 学校支援コーディネーターの活動と学校支援コーディネーター研修会の報告、学校支援ボランティアの活動報告(植田より)
- ・ 司会より学校運営協議会自己評価表・学校評価アンケートの回答依頼
- ・ 司会より次回会議は、令和7年1月31日(金)午後13時15分から授業参観後、会議室で開催する旨の報告があった。

令和6年度 浜松市立白脇小学校グランドデザイン

「はままつの人づくり」～ 未来創造への人づくり 市民協働による人づくり ～

目指す子供の姿

- 自分らしさを大切にする子供
- 夢と希望を持ち続ける子供
- これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供

南部中校区の目指す子供像 「思いやりを持ち、きまりを守る子」

学校教育目標

自立するすこやかな白脇の子 ～たくましく しなやかな子～

目指す子供像と重点(★)

頭 確かな学力	心 豊かな心、豊かな人間性	体 健やかな体、健康・体力
<たくましさ> 課題解決に向けて粘り強く考える子 <しなやかさ> ★異なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子	<たくましさ> 困難にも粘り強く立ち向かう子 <しなやかさ> ★自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力がある子	<たくましさ> 自分の体力を知り、自身を鍛える子 <しなやかさ> 自他の健康安全を考え、行動する子

◇課題解決に向けて粘り強く考える子

- ・「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善
- ・「個別最適な学び(指導の個別化, 学習の個性化)」の充実
- ・学び方や考え方などの学習の基礎基本の定着

◇異なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子

- ・生徒指導の機能を働かせた「聴いて・考えて・つなげる」授業
- ・「協働的な学び」の充実

授業のユニバーサルデザイン

「白脇スタンダード」の活用と充実

◇困難にも粘り強く立ち向かう子

- ・温かな支援と振り返りを生かして社会的資質や行動力を高める生徒指導

◇自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力がある子

- ・友達や異学年との関わりの中で子供の自発的・自治的活動を大切に特別活動
- ・「思いやり」「挨拶」を柱とした指導や支援(挨拶や会釈の推奨)
- ・道徳教育の充実(学年内担任交替授業の実施)(道徳ファイルの活用)

◇自分の体力を知り、自身を鍛える子

- ・確かな運動技能・知識を身に付ける授業づくり
- ・体力アップ月間の実施

◇自他の健康安全を考え、行動する子

- ・命を守るために正しく行動する力を身に付ける安全指導
- ・けがの防止・心身の健康につながる保健指導
- ・いのちに関する授業の実施

ICT活用 タブレット端末利活用

確かな子供理解 ～ 一人一人に徹底的にこだわる教育 ～

「自己決定能力」「自己存在感」「共感的人間関係」「安全・安心な風土」

キャリア教育

★「自分をみがく力」 ・ 「かかわる力」
基礎的・汎用的能力 ★ 「のりこえる力」 ・ 「みらいにつなげる力」

安心・安全を守る

- ・けが・事故0をめざす学校環境づくり
- ・いじめ防止基本計画の確実な実施と見直し

開かれた学校づくり

- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会との協働)
- ・積極的・計画的な情報発信
- ・子供・保護者に徹底的に寄り添う相談体制

令和7年度 浜松市立白脇小学校グランドデザイン

現段階での策定内容

目指すこどもの姿

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動できることも
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

南部中校区の目指す子供像 「思いやりを持ち、きまりを守る子」

学校教育目標

自立するすこやかな白脇の子 ～たくましく しなやかな子～

目指す子供像と重点(★)

頭 確かな学力	心 豊かな心、豊かな人間性	体 健やかな体、健康・体力
<たくましさ> 課題解決に向けて粘り強く考える子 <しなやかさ> ★異なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子	<たくましさ> 困難にも粘り強く立ち向かう子 <しなやかさ> ★自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力がある子	<たくましさ> 自分の体力を知り、自身を鍛える子 <しなやかさ> 自他の健康安全を考え、行動する子
◇課題解決に向けて粘り強く考える子 ・「個別最適な学び(指導の個別化, 学習の個性化)」の充実 ・学習の基盤づくりとしての「白脇スタンダード」の活用と充実 ・学び方や考え方などの学習の基礎基本の定着 ◇異なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子 ・「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善 ・「協働的な学び」の充実	◇困難にも粘り強く立ち向かう子 ・温かな支援と振り返りを生かして社会的資質や行動力を高める生徒指導 ◇自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力がある子 ・友達や異学年との関わりの中で子供の自発的・自治的活動を大切にした特別活動 ・「思いやり」「挨拶」を柱とした指導や支援(挨拶や会釈の推奨) ・道徳教育の充実(学年内担任交替授業の実施) ・道徳ファイルの活用	◇自分の体力を知り、自身を鍛える子 ・確かな運動技能・知識を身に付ける授業づくり ・体力アップ月間の実施 ◇自他の健康安全を考え、行動する子 ・命を守るために正しく行動する力を身に付ける安全指導 ・けがの防止・心身の健康につながる保健指導 ・いのちに関する授業の実施

ICT活用 タブレット端末利活用

確かな子供理解 ～一人一人に徹底的にかかわる教育～

「自己決定能力」「自己存在感」「共感的人間関係」「安全・安心な風土」

キャリア教育

★「自分をみがく力」 ・ 「かかわる力」
基礎的・汎用的能力 ★ 「のりこえる力」 ・ 「みらいにつなげる力」

安心・安全を守る

- ・ いじめ防止基本計画の確実な実施と見直し
- ・ けが0・事故0をめざす学校環境づくり

開かれた学校づくり

- ・ コミュニティ・スクール<3年目>(学校運営協議会との協働)
- ・ 積極的・計画的な情報発信
- ・ 子供・保護者に徹底的に寄り添う相談体制

令和6年度白鷺小学校 第3回学校運動協議会

時間：13:15～あいさつ
13:20～授業参観
13:45～熱議・報告等
15:00終了
場所：会議室

学校評価について

事前のアンケートありがとうございます。このアンケート結果に基づき、来年度の教育課程について話し合いをしています。

検討している改善策につきまして適切であるかご意見をお寄せください。

ICT活用

タブレット端末活用

授業のユニバーサルデザイン
「白鷺スタンダード」の活用と充実

ICT活用

タブレット端末活用

授業のユニバーサルデザイン
「白鷺スタンダード」の活用と充実

ICT活用

タブレット端末活用

授業のユニバーサルデザイン
「白鷺スタンダード」の活用と充実

R6⇔R5年度児童	R6				R5				R6⇔R5 増減率
	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	そう 思わない	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	そう 思わない	
1. 学校は楽しい。	69.4%	23.8%	4.8%	2.0%	64.9%	26.9%	5.9%	2.4%	1.3%
2. 授業の進め方が大切になっている。	75.3%	19.8%	3.3%	1.4%	75.0%	19.1%	4.4%	1.4%	0.6%
3. 相手の気持ちを考えながら行動している。	58.0%	36.3%	4.4%	1.3%	57.0%	36.8%	5.1%	1.1%	0.2%
4. 自分で決めたことに取り組んでいく。	56.4%	32.8%	8.3%	2.4%	53.0%	36.1%	8.6%	2.3%	0.1%
5. 誰とでも協力して活動に取り組んでいる。	61.5%	31.2%	5.7%	1.7%	61.8%	30.8%	5.9%	1.6%	1.4%
6. 「ありがとう」の言葉を大切にしている。	54.1%	37.3%	6.3%	2.3%	52.4%	37.5%	8.6%	1.4%	-3.6%
7. 困ったことや悲しいことを話せる人がある。	69.4%	20.1%	6.3%	4.1%	76.3%	16.8%	4.1%	2.7%	-0.4%
8. 働くことの大切さが分かり、係や班・グループの役割に責任を感じている。	73.5%	21.6%	3.0%	1.9%	74.4%	21.3%	3.1%	1.2%	2.3%
9. 勉強が分かる。	59.9%	34.1%	4.4%	1.8%	60.0%	31.8%	5.9%	2.4%	-1.0%
10. 勉強が分かる。	58.2%	30.7%	7.4%	3.7%	60.3%	30.1%	7.0%	2.5%	-1.0%
11. 友達や先生との関わりの中で、自分の思いを大切にしている。	74.7%	21.4%	2.5%	1.4%	76.0%	21.1%	1.6%	1.3%	-0.1%
12. 先生は、いろいろな話を聞いてくれる。	75.2%	18.3%	4.4%	2.2%	73.4%	20.2%	5.4%	1.1%	-3.2%
13. 家の人に、夢や希望について話している。	63.2%	21.7%	10.2%	4.9%	67.5%	20.7%	7.4%	4.4%	
14. 家の人に、夢や希望について話している。	63.0%	21.1%	9.9%	6.0%					
15. 家の人に、頑張りたいことや頑張っていることについて話している。	63.3%	21.4%	9.1%	6.2%					
16. 夢は大切なものだと感じている。	93.4%	5.5%	0.8%	0.6%	93.7%	4.7%	1.1%	0.6%	0.5%
17. 友達や先生をまじめに受けていて、相手は嬉しいと思う。	74.3%	22.5%	1.0%	1.6%	76.5%	20.2%	2.7%	0.6%	-1.4%
18. 相手の気持ちを大切にしている。	84.6%	12.3%	1.5%	1.6%	87.8%	10.5%	1.2%	0.5%	

＜頭＞学習について

「学校は楽しい」「勉強が分かる」
に対して、肯定的に回答した割合は、

1. 5%アップ👉

2. 2%アップ👉

＜頭＞学習について

CSボランティアの活躍

校内研修体制の充実

があったと考えられる

＜体＞健康・体力について

体力アップ月間として、

6月：ドッジボールラリー

1月：8の字とび（長縄）

年間通じての活動が必要では？

目指す子供像と重点（★）			
頭	豊かな学力	心	豊かな人間性
＜たくましく＞ 課題解決に向けて粘り強く考える子 ★真なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子	＜たくましく＞ 課題解決に向けて粘り強く考える子 ★真なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子	＜たくましく＞ 困難にも粘り強く立ち向かう子 ★自他の思いを大切にしながら折れにくく回復力がある子	＜たくましく＞ 困難にも粘り強く立ち向かう子 ★自他の思いを大切にしながら折れにくく回復力がある子
＜たくましく＞ 課題解決に向けて粘り強く考える子 ★真なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子	＜たくましく＞ 課題解決に向けて粘り強く考える子 ★真なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子	＜たくましく＞ 困難にも粘り強く立ち向かう子 ★自他の思いを大切にしながら折れにくく回復力がある子	＜たくましく＞ 困難にも粘り強く立ち向かう子 ★自他の思いを大切にしながら折れにくく回復力がある子
＜たくましく＞ 課題解決に向けて粘り強く考える子 ★真なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子	＜たくましく＞ 課題解決に向けて粘り強く考える子 ★真なる考えを受け入れながら課題に柔軟に対応する子	＜たくましく＞ 困難にも粘り強く立ち向かう子 ★自他の思いを大切にしながら折れにくく回復力がある子	＜たくましく＞ 困難にも粘り強く立ち向かう子 ★自他の思いを大切にしながら折れにくく回復力がある子

確かな子供理解～一人一人に徹底的にかかわる教育～

<体>健康・体力について

「体カアップ100点カード」を！

学年	体カアップ100点カード	学年	体カアップ100点カード	学年	体カアップ100点カード
1年生	100点	2年生	100点	3年生	100点
4年生	100点	5年生	100点	6年生	100点
7年生	100点	8年生	100点	9年生	100点
10年生	100点	11年生	100点	12年生	100点
13年生	100点	14年生	100点	15年生	100点
16年生	100点	17年生	100点	18年生	100点
19年生	100点	20年生	100点	21年生	100点
22年生	100点	23年生	100点	24年生	100点
25年生	100点	26年生	100点	27年生	100点
28年生	100点	29年生	100点	30年生	100点
31年生	100点	32年生	100点	33年生	100点
34年生	100点	35年生	100点	36年生	100点
37年生	100点	38年生	100点	39年生	100点
40年生	100点	41年生	100点	42年生	100点
43年生	100点	44年生	100点	45年生	100点
46年生	100点	47年生	100点	48年生	100点
49年生	100点	50年生	100点	51年生	100点
52年生	100点	53年生	100点	54年生	100点
55年生	100点	56年生	100点	57年生	100点
58年生	100点	59年生	100点	60年生	100点
61年生	100点	62年生	100点	63年生	100点
64年生	100点	65年生	100点	66年生	100点
67年生	100点	68年生	100点	69年生	100点
70年生	100点	71年生	100点	72年生	100点
73年生	100点	74年生	100点	75年生	100点
76年生	100点	77年生	100点	78年生	100点
79年生	100点	80年生	100点	81年生	100点
82年生	100点	83年生	100点	84年生	100点
85年生	100点	86年生	100点	87年生	100点
88年生	100点	89年生	100点	90年生	100点
91年生	100点	92年生	100点	93年生	100点
94年生	100点	95年生	100点	96年生	100点
97年生	100点	98年生	100点	99年生	100点
100年生	100点				

どのように見取ろうか

<心>いじめ防止について

本年度の取り組みから

- ・道徳授業、情報モラル授業
- ・アンケートの実施
- ・学校運営協議会からの呼び掛け（第2回）

いじめ防止対策に向けて取り組む考え方

- ・「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえ、いじめ防止の観点から、いじめの防止・対応に努める。
- ・「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえ、いじめの防止・対応に努める。
- ・「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえ、いじめの防止・対応に努める。

いじめ防止対策の考え方

- ・いじめ防止の観点から、いじめの防止・対応に努める。
- ・いじめ防止の観点から、いじめの防止・対応に努める。
- ・いじめ防止の観点から、いじめの防止・対応に努める。

いじめ防止対策の実践

- ・いじめ防止の観点から、いじめの防止・対応に努める。
- ・いじめ防止の観点から、いじめの防止・対応に努める。
- ・いじめ防止の観点から、いじめの防止・対応に努める。

<心>いじめ防止について

いじめ認知報告

R5は21件

R6は14件

7件減少

学校評価について

検討している改善策につきまして適切であるか
ご意見をお寄せください。

- ・CSボランティアの活躍
- ・運動技能・知識の向上を目的とした年間通じての活動
- ・いじめの防止についての取り組み
(学校運営協議会からの呼び掛け)

R6年度	児童					保護者					教員				
	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	そう	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	そう	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	そう
1. 学校は楽しい。	69.4%	23.8%	4.8%	2.0%		49.0%	44.9%	5.3%	0.8%		30.6%	69.4%	0.0%	0.0%	
2. 自分のことを大切にしている。	75.3%	19.8%	3.5%	1.4%		56.8%	41.8%	1.4%	0.0%		27.8%	66.7%	5.6%	0.0%	
3. 相手の気持ちを考えて行動している。	58.0%	36.3%	4.4%	1.3%		38.3%	56.4%	5.3%	0.0%		5.6%	69.4%	25.0%	0.0%	
4. 自分で決めたためあてに粘り強く取り組んでいる。	56.4%	32.8%	8.3%	2.4%		21.6%	57.2%	20.2%	1.0%		8.3%	72.2%	19.4%	0.0%	
5. 誰とでも協力して活動に取り組んでいる。	61.5%	31.2%	5.7%	1.7%		34.6%	56.4%	8.2%	0.8%		22.2%	63.9%	13.9%	0.0%	
6. 「あたたかい聴き方・やさしい話し方」が できている。	54.1%	37.3%	6.3%	2.3%		24.5%	60.3%	14.8%	0.4%		5.6%	72.2%	22.2%	0.0%	
7. 困ったことや悲しいことを話せる人がい る。	69.4%	20.1%	6.3%	4.1%		19.3%	58.9%	19.1%	2.7%		16.7%	80.6%	2.8%	0.0%	
8. 働くことの大切さが分かり、係や当番活動 (、委員会活動)に取り組んでいる。	73.5%	21.6%	3.0%	1.9%		24.1%	60.3%	14.8%	0.8%		13.9%	75.0%	11.1%	0.0%	
9. 勉強が分かる。	59.9%	34.1%	4.2%	1.8%		17.7%	63.8%	17.3%	1.2%		5.6%	75.0%	19.4%	0.0%	
10. 「目を見て・笑顔で・明るい声で」あい さつをしている。	58.2%	30.7%	7.4%	3.7%		27.6%	53.5%	16.9%	1.9%		8.3%	25.0%	58.3%	8.3%	
11. 自分や友達の安全に気を付けて生活して いる。	74.7%	21.4%	2.5%	1.4%		32.1%	60.7%	7.2%	0.0%		8.3%	61.1%	27.8%	2.8%	
12. 先生は、いろいろな話を聞いてくれる。	75.2%	18.3%	4.4%	2.2%		19.8%	50.4%	26.3%	3.5%		25.0%	66.7%	8.3%	0.0%	
13. 家の人に、学校の出来事を話している。	63.2%	21.7%	10.2%	4.9%		38.1%	45.9%	15.0%	1.0%		13.9%	72.2%	13.9%	0.0%	
14. 家の人に、将来の夢や希望について話を している。	63.0%	21.1%	9.9%	6.0%		25.9%	43.0%	27.8%	3.3%		2.8%	52.8%	44.4%	0.0%	
15. 家の人に、頑張りたいことや頑張ってい ることについて話している。	63.3%	21.4%	9.1%	6.2%		41.6%	42.4%	14.0%	1.9%		11.1%	66.7%	22.2%	0.0%	
16. 命は大切なものだと思っている。	93.4%	5.5%	0.6%	0.6%		67.9%	30.7%	1.4%	0.0%		55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	
17. 道徳の授業をまじめに受けている。	74.3%	22.5%	2.2%	1.0%		35.4%	57.4%	6.8%	0.4%		33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	
18. 相手が嫌がること（いじめ）は、しては いけないと思っている。	84.6%	12.3%	1.5%	1.6%		69.1%	30.2%	0.8%	0.0%		47.2%	50.0%	2.8%	0.0%	

比較%

R5

R6-R5 肯定的回答	R5			
	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1.5%	64.9%	26.9%	5.9%	2.4%
1.0%	75.0%	19.1%	4.4%	1.4%
0.6%	57.0%	36.8%	5.1%	1.1%
0.2%	53.0%	36.1%	8.6%	2.3%
0.1%	61.8%	30.8%	5.9%	1.6%
1.4%	52.4%	37.5%	8.6%	1.4%
-3.6%	76.3%	16.8%	4.1%	2.7%
-0.6%	74.4%	21.3%	3.1%	1.2%
2.3%	60.0%	31.8%	5.9%	2.4%
-1.6%	60.3%	30.1%	7.0%	2.5%
-1.0%	76.0%	21.1%	1.6%	1.3%
-0.1%	73.4%	20.2%	5.4%	1.1%
-3.2%	67.5%	20.7%	7.4%	4.4%
0.5%	93.7%	4.7%	1.1%	0.6%
0.2%	76.5%	20.2%	2.7%	0.6%
-1.4%	87.8%	10.5%	1.2%	0.5%

R6

R6⇔R5年度児童				
	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1. 学校は楽しい。	69.4%	23.8%	4.8%	2.0%
2. 自分のことを大切にしている。	75.3%	19.8%	3.5%	1.4%
3. 相手の気持ちを考えて行動している。	58.0%	36.3%	4.4%	1.3%
4. 自分で決めためあてに粘り強く取り組んでいる。	56.4%	32.8%	8.3%	2.4%
5. 誰とでも協力して活動に取り組んでいる。	61.5%	31.2%	5.7%	1.7%
6. 「あたたかい聴き方・やさしい話し方」ができています。	54.1%	37.3%	6.3%	2.3%
7. 困ったことや悲しいことを話せる人がいます。	69.4%	20.1%	6.3%	4.1%
8. 働くことの大切さが分かり、係や当番活動（委員会活動）に取り組んでいる。	73.5%	21.6%	3.0%	1.9%
9. 勉強が分かる。	59.9%	34.1%	4.2%	1.8%
10. 「目を見て・笑顔で・明るい声で」あいさつをしている。	58.2%	30.7%	7.4%	3.7%
11. 自分や友達の安全に気を付けて生活している。	74.7%	21.4%	2.5%	1.4%
12. 先生は、いろいろな話を聞いてくれる。	75.2%	18.3%	4.4%	2.2%
13. 家の人に、学校の出来事を話している。	63.2%	21.7%	10.2%	4.9%
14. 家の人に、夢や希望について話している。	63.0%	21.1%	9.9%	6.0%
15. 家の人に、頑張りたいことや頑張っていることについて話している。	63.3%	21.4%	9.1%	6.2%
16. 命は大切なものだと思っている。	93.4%	5.5%	0.6%	0.6%
17. 道徳の授業をまじめに受けている。	74.3%	22.5%	2.2%	1.0%
18. 相手が嫌がること（いじめ）は、してはいけなと思っています。	84.6%	12.3%	1.5%	1.6%

体力アップ100点カードについて

1 ねらい

白脇小児童の運動能力・体力の低下に少しでも歯止めをかけるため、本カードを生かして体力の向上・運動の生活化を図る。

2 計画

4月 体力アップ100点カードの提案

7月 1学期の反省(得点集計中間報告)

9、10月 新体力テスト実施

11月 新体力テスト結果集計考察(本校児童の体力の把握・補強運動の検討)

12月 2学期の反省(得点集計中間報告)

2月 最終報告 次年度カードの検討

3月 1年間の反省(得点集計報告次年度への引継ぎ)

3 留意事項

○児童の自己申告で結構ですが、担任として時間を見つけて見届けをお願いします。

○学校の体育活動以外でも、できていればOKです。

○休み時間や放課後など友達同士でやってみてでもOKです。

○回数や段など数字が複数あるものは、一番小さいものができればOKです。

○技のできればは問わないこととします。技のできればは授業で高めていきます。

○体育の授業の中で主運動に関係するときは積極的に取り上げてください。

○カードは1年間使用します。各クラスで保管、見届けをお願いします。

4 報告の仕方

○各項目(10項目)ごとにアンケート調査を行う。

1学期末(7月上旬) 2学期末(12月上旬) 3学期末(2月下旬)に各学級で実施する。

1年生 たいりよくアップ100点カード

くみ ばん

なまえ

はしる すばやさ	ケンケン10m 右 左	立ちばとび120cm	ゴムとび	ひざのたかさ	はんぶくよことび 25回よりおおく	50m走 12びよりはやく	
ゆうぐなど	ジャングルジム 1しゅう よこまわり	こうてつぼうふらさがり 5びよう	のぼりぼう	はんぶん	うんてい	たけうま 10ぼ	
てつぼう	だんごむし 5びよう	足ぬき回り いき もどり	まえまわりおり		こうもり	さか上がり	
すいえい	みずのなかで いきをはく	だるまうき 5びよう	ふしうき 5びよう		けのび	じゆうおよぎ 5m	
なわとび	りょうあしとびまえ 20回	りょうあしとびうしろ 20回	かけあしとびまえ 20回		かけあしとびうしろ 20回	じきゆうとび 1分かん	
マット	ゆりかご れんぞく5回	アザラシあるき 5m	うさぎとび 5m		手おし車 10ぼ	よこまわり	
とびばこ	かえるさかだち 3びよう	うさぎとびはね れんぞく5回	かいきやくとび よこ 2 3 4だん		かいきやくとび たて 2 3 4だん	よことび 2 3 4だん	
ボール	りょうてまりつき 10回	なげあげてとる	ノーバウンドをキャッチする		とうてきばん 5mキック ノーバウンド	ソフトボール投げ 男10m 女7m	
かだめし やわらか さ	おんぶして 10ぼ	じょうたいおこし 13かい	ブリッジ 3びよう		あくりよく 10kg	ちようざたいぜんくつ 25cm	
そとあそび	8の字とびに ちようせん	8の字とび どうしよう	8の字とび ぎんしよう		8の字とび 金しよう	ドッジボールラリーに ちようせん	
※とびはこのすうじは、とべた だん にOをつけましょう。 ※1ます 1てんです。できたいろいろをぬったリシールをはったりしましょう。							
				1がっきのてんすう	2がっきのてんすう	3がっきのてんすう	点
				点	点	点	点

R6年度 白脇応援ボランティア実績 及び R7年度ボランティア提案例

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1		アサガオ種まき(28名)	アサガオ支柱立て(45名)			アサガオのツルでリース作り(44名)	校外学習引率補助		球根・苗植え(35名) / 自分でできるよ家事体験(30名)		動くおもちゃ作り	
提案例	給食補助/下校支援		ブルー監視補助	ブルー監視補助			校外学習引率補助		生活科・音の遊び			
2					夏休み花壇水やり(35名)		地域探検(商店・公共施設)	サツマイモ掘り / サツマイモ調理・炊食(8名)				
提案例			ブルー監視補助	ブルー監視補助			校外学習引率補助	算数・九九暗算	園工・版画	園工・カッター		
3												
提案例		音楽・リコーダー	ブルー監視補助	ブルー監視補助		校外学習引率補助		園工・釘打ち				
4												
提案例			ブルー監視補助	ブルー監視補助								
5			家庭科手縫い(40名)				家庭科ミシン(20名)					
提案例		家庭科・調理実習	ブルー監視補助	ブルー監視補助			夢授業(白脇地区出身)	家庭科・調理実習				
6							家庭科ミシン(13名)					
提案例		家庭科・調理実習	ブルー監視補助	ブルー監視補助			夢授業(白脇地区出身)	家庭科・調理実習				
その他	読み聞かせ 体育のみまもり 計算カード(1年・2年)											
提案例		GW花壇水やり	夏花壇への植え替え	夏休み花壇水やり	夏休み花壇水やり				冬休み花壇水やり	冬休み花壇水やり		

学習支援

R6年度 白鰐応援ボランティア実績

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	アサガオ種まき	アサガオ支柱立て	アサガオのツルでリース作り						球根・苗植え	家事体験(1,2月)	動くおもちゃ作り	風揚げ
ボラ人数	28名	45名	44名						35名	30名		
2				夏休み花壇水やり			地域探検(商店・公共施設)	サツマイモ調理・飲食				
ボラ人数				35名(7,8月)				8名				
3												
ボラ人数												
4												
ボラ人数												
5			家庭科手縫い(6,7月)			家庭科ミシン(9,10月)						
ボラ人数			40名(6,7月)			20名(9,10月)						
6						家庭科ミシン						
ボラ人数						13名						

学 習 支 援

<保護者感想>

- ・ 参観会とは違った子供たちの普段の様子が見られて良かった。

・ 先生方がどんなに親身に取り組んでいたかを感じて良かった。

・ 子供のクラスの顔と名前が一致して、子供の話を聞くときに顔が思い浮かぶようになった。

・ 授業を進める先生方の大変さがよく分かった。

・ 子供たちの一所懸命取り組む姿が見られて参加して良かった。

・ 自分の時間が、少しでも子供たちの学習の力になれるという楽しさを感じられた。

・ 日頃の子供の交友関係も知れたり、参加後、親子の会話が弾んだ。

・ 他学年のボランティア参加は、自分も勉強になることが多かった。ボランティア制は気負わず参加できるのがいい。

・ 学校と親が協力することは大切。地域が連携することで、先生の負担が減ったなどと思った。

・ 何度が参加しているうちに、子供たちも覚えてくれて、クラスの子供たちに親近感を覚えた。
- ・ 初めて使うミシンに悪戦苦闘しながら、積極的に聞きに来てくれる姿にとっても感心した。

・ 町探検で、子供たちで聞きたい質問をしっかりと考え、聞く態度、行動も落ち着いていてすてきだった。

・ ミシンで、わからないことはしっかりと伝え、アドバイスすると、気持ちのいいお礼を返してくれた。

・ 様々な個性・価値観を持った子供たちが、考えながら協力して行動する5年生たちを垣間見られて、一緒に作業ができてよかった。

〈改善点〉

・ 縫製ができない子が、女子に丸付けをしまわなくて、「機会損失」だと思っただ。それを担当の先生が気づいていないようだったが、うまく伝えることができなかった。

・ 家庭科ミシンで、仕様が数パターンあったので、縫製仕様書があった方がいい。(可視化の必要性)

・ 家事体験の食器並べに参加したが、左利きの並べ方で戸惑った。下調べしてから参加すべきだった。

・ サツマイモの茶巾づくりに参加したが、8人のボランティアでは2時間で準備するには無理がある量だったので、人員を増やすか、お芋の量を調整してほしい。

・ あさがおのリース作りは手がかるのもう少し人手が欲しい。

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立白脇小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・ 学校運営と児童の実態を知る。
- ・ 重点目標を知り、そこにつながる学校、家庭、地域それぞれが実行できる支援について熟議する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 学校からの要点説明後、保護者目線、地域目線でどういう子供に育ってほしいかについて熟議し、様々な課題や困難に対応できる「しなやかな頭、しなやかな心」の育成に力を入れていくことを確認することができた。
- ・ 基本方針を具現化していくための、サポートを保護者から地域に広げていく必要性について理解した。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・ いじめの理解と対応について、グランドデザインに基づいた学校の対策や取り組みを知った後、「自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力のある子を育てる」ために学校、家庭、地域の役割を明確化した。それぞれの環境の重要性とその役割について話し合うことができた。
- ・ 登録ボランティアを増やし、ボランティアが学校教育活動の支援をすることによって深い学びに寄与できることを理解し、校内だけでなく地域に向けての支援システム構築の必要性について熟議することができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・ ホームページやCS便り等で発信しているが、それをPTA、地域関係者に理解しているかは分からない。さらに認知度をあげ、一方通行な発信にならないようにしたい。
- ・ 協働センターにチラシを置いたり、白脇まつりで発信したりして、地域に向けてボランティア募集を行った。保護者ボランティアは100人程度登録があったが、地域への認知度は低い。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ コミュニティ・スクールとして、学校、保護者、地域が一体となっているとはまだ言えない。自治会を巻き込んで、皆で子供を支えていく支援システムの構築について熟議していきたい。
- ・ 引き続きコミュニティ・スクールについて発信し、保護者や地域につながる意識をもってもらおう。